

Staff Blog



園長室ブログ

キリンが生まれたああ！

8月22日朝、思いがけない朗報が舞い込みました。キリンの誕生です。朝一で出勤した担当飼育員が「キリンが増えてるうー」と私の携帯にかけてきたのです。キリナが妊娠してるらしいことは分かっていたので、思いがけない、という表現はあてはまらないかも知れませんが、でも、実際この目で見るとまでは、赤ちゃんキリンの誕生が現実にかかるということが信じられませんでした。3年前、お腹に赤ちゃんを抱えながら突然亡くなったキリナの姉、キリコのことがあるから尚更です。高ぶる気持ちを抑えつつ、こんな事態も想定して今年新装なった新しいキリン舎に（ほんと、ドンピシャのタイミングでした）足を運びました。赤ちゃんが生まれた後の動物たちはみな神経をとがらせています。特にキリンは繊細で突然の大きな声などに極端に反応します。このため、驚かせないように、「キリナー、おーい、よかったねー」などと声をかけながら静かに入室しました。



すると、・・・いたあ！うわー、かわいいいいい！大きなお母さんキリンの横に、ちょこんと佇んでこちらを見ているその姿の愛らしさといったら・・・。まあ、動物園にきてたくさんのお産直後の動物たちに出会いましたが、こんなかわいいのは初めてのようになります。また、ほかの動物園でも、産まれてあまり経っていない赤ちゃんキリンを見たことはあるのですが、こんなかわいかったっけ？手前味噌だろうが親ばかだろうが、やはり自分とこ

の赤ちゃんはかわいいですね。なんか、個人的には孫ができたような感覚です。



思えばキリンに関しては色々ありました。今だから話しちゃいますが、平成19年に園長として動物園にきた時、キリンはメスのキリコ1頭だけでした。それまでペアを組んでいたナミトというオスが平成18年に亡くなり、一人暮らしを続けていたのです。そこで、当時の前市長からは早急にオスを入れるよう宿題を課されていました。しかし、それまで事務職で役所にいた私には、ブリーディングローンという手法は知っていたものの、他の園と何の伝手もなく、どうしていいかわからない状態が続いていました。また、購入が前提で出してもよいという話は獣医を通してあったのですが、購入予算もなくどうしようか逡巡しているところでもありました。そんな時、動物園の食堂や売店部門を運営する日立市公園協会から、設立50周年を記念して、何か動物園に寄付をしたい、という申し入れがありました。そこで、これは渡りに船とばかりに話をつけ、なんとか協会さんから寄贈される形で現在のオス、シゲル君がはるばる九州からやってきたのでした。



キリコとシゲルは、徐々に打ち解けあい念願の交尾も確認し待望の出産を待ち望んでいたところに、前述のように残念な結果となったわけです。また今回、実は交尾については誰も確認していません。ただ、去年のゴールデンウィークのころ、オスがメスを追い回す追尾行動を盛んに繰り返していたそうです。その後今年に入り春ごろからキリナのお腹が徐々に膨らみ始めたため、今夏後半の出産を想定しました。そういったことやこれまでの経緯から、私としても妊娠の可能性を否定はしないものの、実際の赤ちゃん誕生を現実の出来事としてとらえられませんでした。しかし、今こうして目の前のキリン母子を見ていると、これまでのことやキリコの後を継いだ妹キリナの偉業、姉妹ともども協力頂いた桐生が岡動物園（日立市と桐生市は実際姉妹都市の関係にあります）さんへの感謝、2世誕生を期待して新しくした獣舎のことなど、いろいろな思いが交錯してきます。そして何より嬉しいことは、1日目は全く授乳せず、スワ人工かと思っていた2日目から、やおらお母さんが授乳を始め、その後も

順調に授乳が進んでいることです。もう1週間以上たちますのでもう大丈夫でしょう。



あとは、皆さんの前に一日も早く可愛らしく元気な姿を見せられるよう、動物園も準備していきたいと思います。乞うご期待！

※[どうぶつのくにVol.16はこちら](#)（新しいウインドウが開きます）

2014年9月1日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)